

# 女子ホッケーU21日本代表チーム オーストラリア遠征 (Canberra)

日付	2020年2月25日 18:00~		
場所	ACT Hockey Stadium	天候	晴
試合	第3戦	通算結果	日本 0勝 2敗 1分

## RESULT

Country						Country
日本 U21	0	0	-	0	5	オーストラリア
JAPAN U21		0	-	0		AUSTRALIA
		0	-	1		
		0	-	4		

Minute	Shirt No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
X	1	青木 珠美			
X	3	尾本 桃子			
X	4	足立 依鞠			
9	5	立岩 奈那子			
X	6	岸 明日香			
6	7	佐野 優水			
X	8	小林 久留海			
X	9	小早川 志穂	33		
X	10	高島 瑠唯			
DNP	11	中込 紅莉			
31	12	中島 理子			
8	13	佐守 風香			
X	14	松本 愛理			
X	15	佐々木 杏果			
X	16	河合 珠音			
8	17	大類 かんな			
X	18	大塚 美季			
11	19	五島 千那美			
8	20	真田 遥果			
DNP	21	西永 空			
H. Coach		小林 和典			
Coach		久我 晃広			
UMPIRE		BROWN Nicola			

Minute	Shirt No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
X	1	SHAND Hattie			
X	2	FITZPATRICK Kendra			
4	3	COLASURDO Isabella			
X	4	SCHONELL Courtney			
X	6	YOUNG Grace			
4	8	BLAMEY Morgan			
X	10	MATHISON Morgan			
4	12	UTRI Aisling			
X	13	COLWILL Claire			
X	14	JAMES Carly			
X	15	ARNOTT Alice			
4	17	GIBBS Annie			
X	19	ROCKLIFF Renee			
4	20	SMITH Maddison	5,37		
X	22	de BROUGHE Emma			
6	24	UTRI Ciara			
X	29	HAMMOND Amy			
	32	ASTBURY Hannah			
Coach		DAVY Jeremy			
Manager		WINCH Camilla			
UMPIRE		CARROLL Emily			

Team	Minute	Name	Action	Score

Team	Minute	Name	Action	Score
AUS	41	BLAMEY Morgan	FG	0-1
AUS	51	ARNOTT Alice	PC	0-2
AUS	51	SCHONELL Courtney	FG	0-3
AUS	55	ARNOTT Alice	FG	0-4
AUS	60	SCHONELL Courtney	FG	0-5

第1Q 1敗1分だけで迎えた第3戦、日本のセンターパスで試合が始まる。何とか1勝を挙げたい日本チームは、前半から果敢に相手陣へ攻め込む。4分フィールド中央のFHを、#18大塚が速いリスタートで右サイドDFの裏に流し込む。これを受けた#16河合が強烈なシュートを放つが、GKの正面となりセーブされる。6分には#16河合が右サイドで相手DFからボールを奪うと、早いタイミングでサークル内の#9小早川へパス。2人のDFを鮮やかにかわしリバースシュートを放つが相手GKの好セーブに阻まれる。これに対してオーストラリアは8分、サイドチェンジから右サイドを崩されサークルイン、#4SCHONELLが45度からシュートを放つがゴール左に外れる。その後両チーム攻め合いの激しい試合となる。

第2Qに入ると徐々にオーストラリアのペースとなる。オーストラリアは21分にはPCを獲得、フリックシュートを放つがゴール左に外れる。さらに22分再度PCを獲得するが、#1GK青木の好セーブにより得点にはつながらない。その後もゲームの主導権を握られ、27分には右サイドからのクロスボールがサークル内につながり、ヒットシュートを打たれるが、これも#1GK青木が好セーブを見せ、何とか無失点で前半を切り抜ける。

第3Q 反撃に転じたい日本は、32分、サークルトップFHから速いリスタートをしたところ5m内の相手選手が反応しPCを獲得する。日本はこのPCをトリックプレーで1番騎を翻弄し、#10高島が強烈なシュートを放つが相手GKにセーブされる。さらにそのリバウンドを#9小早川が拾いリバースシュート、これも相手DFにクリアされる。これに対してオーストラリアは34分PCを獲得すると、強烈なヒットシュート、一瞬決まったかと思われたがアップボールの判定で日本は難を逃れる。しかし41分、フィールド中央でボールを奪われると右サイドを突破され、サークルトップから#8BLAMEYがリバースシュート、これが決まりオーストラリアが先制する。

第4Q 何とか追いつきたい日本ではあるが、オーストラリアの猛攻に守備の場面が多くなる。50分にはオーストラリアがPCを獲得、#15ARNOTTの強烈なリバースシュートが決まり追加点を挙げる。52分にはターンオーバーから右サイドを崩されサークル内へパス。これを#4SCHONELLが見事なワントラップシュート、ゴールニアサイドに決まり3点目。さらに55分、左サイドを崩されサークルイン。一旦はボールを奪うが、再度取り返されGKの至近距離から強烈なヒットシュート、4点目を献上する。日本は58分にPCを獲得、#3尾本と#9小早川のワン・ツーパスからシュートを放つが、相手DFの好守備で得点にならない。終了間際の60分にはダメ押しの5点目を決められ試合が終了した。

日本	7	シュート数	18	オーストラリア
	3	PC数	6	